人権･平和･環境教育　理論研修会　終了報告

テーマ	「五感で学ぶ防風林のはたらき」（環境教育分野）
日　時	令和8年8月20日（木）
会　場	石狩教育研修センター
講　師	速水　将人氏　（北海道立総合研究機構　森林環境部　環境グループ　主査）
参加者	13 名

研修会の様子



講師として地方独立行政法人北海道立総合研究機構　森林環境部　環境グループ　主査である速水将人氏をお招きして、防風林の役割について教えていただきました。



防風林の役割について理解を深めるため、防風林のミニチュアを使いながら、場所によって風速が変わることを学びました。



サクラやキハダ、マツ等を蒸留したものをブレンドし、自分なりの香水をつくりました。身近にある植物から様々な香りが生まれ、森林を身近に感じることができました。



乾燥シートとラミネートシートを使って松の葉を挟みエゾマツとアカマツの標本をつくりました。普段なにげなく見えた同じ松でも違いがあることに気付きました。



本研修会を通して、防風林が果たす役割について学ぶことができました。適切な管理が、農地を守ったり、土壌が海に流れることを防いだりしていることがわかりました。